

1. 授業の概要(ねらい)

生物心理学は、ヒトやヒト以外の動物を対象に、行動やその背景にある認知・思考・感情の仕組みや働きについて、脳や神経伝達物質などの神経機構も含めて説明しようとする心理学の一分野になります。生物心理学は、比較心理学や比較認知神経科学および進化心理学などを含む、いくつかの他の分野と関連しています。生物心理学Ⅱでは、動物の「心」を知る方法として、条件づけや動機づけについて説明した後で、自己や他個体との関係について概説します。

2. 授業の到達目標

①ヒト以外の動物に関する心理学研究を通じて、基礎心理領域の知識を修得し、その法則や理論を説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験(70%)とレポート(30%)で評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

テキスト:使用しない。

参考文献

John P.J. Pinel 『ビネル バイオサイコロジー—脳・心と行動の神経科学』 西村書店

渡辺茂 『文春新書 ヒト型脳とハト型脳』 文藝春秋

渡辺茂 『ハトがわかればヒトがみえる—比較認知科学への招待—』 共立出版

藤田和生 『比較認知科学への招待—「こころ」の進化学』 ナカニシヤ出版

川合伸幸 『心の輪郭 比較認知科学から見た知性の進化』 北大路書房

日本動物心理学会 監修 『動物たちは何を考えている?—動物心理学の挑戦—』 技術評論社

5. 準備学修の内容

特に予備知識を必要としませんが、講義内容は段階的に積み重ねて進む場合があります。毎回の授業内容をきちんと理解しておくことが必要です。講義の前に前回までの講義内容を復習しておくことが大切です。用語の説明など、基本的な事項については覚えることも必要になります。

6. その他履修上の注意事項

広い視野で学ぼうという姿勢を持って、積極的に講義に参加することを期待します。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクションとして授業内容について説明する。
- 【第2回】 動機づけについて学ぶ。
- 【第3回】 レスポンデント条件づけについて学ぶ。
- 【第4回】 オペラント条件づけについて学ぶ。
- 【第5回】 洞察・問題解決について学ぶ。
- 【第6回】 知識の継承・伝搬について学ぶ。
- 【第7回】 概念形成について学ぶ。
- 【第8回】 合理的な選択について学ぶ。
- 【第9回】 第1回から第8回までの振り返って、内容を整理する。*オンラインで実施する。
- 【第10回】 自己鏡映像認知について学ぶ。
- 【第11回】 社会的関係について学ぶ。
- 【第12回】 他者の意図を読むことについて学ぶ。
- 【第13回】 協力・利他行動の進化について学ぶ。
- 【第14回】 社会的知性仮説について学ぶ。
- 【第15回】 期末試験とまとめを行う。